

『真光寺川 里親の会』通信

3月号 一通算第108号

2010年3月14日

2月例会：旧真光寺川～市が尾まで散策しました

立 春過ぎて寒い日が続き、前日は小雪がちらつく天候でしたが、ヴァレンタインが味方したのか2月14日は天気が回復、久しぶりの青空がのぞきました。定刻10時、下堰に集まったのは11名（うち女性2名）、山本さんと黒田さんが予め散策コースを下見しており、きれいな散策マップが配られました。



恩廻公園にて

先 ず古い真光寺川の流れをたどっていくことになって下流に向かって歩き出す。新矢崎橋を鶴川駅方向に右折すると、世田谷通りとの交差点、その近くに昔の矢崎橋の橋桁が埋もれていました。ちょうど歩道橋のたもとあたりで普段は見過ごしている場所です。これで見ると昔の真光寺川は蛇行しながらかなり鶴川駅寄りに流れていたようです。河川改修前は大雨が降ると鶴川駅が浸水したといいますが、この場所まで流れがきていたのであれば納得できます。世田谷通りを横切ると旧真光寺川は整地され往時の流れをしのびだけになっています。その暗渠から今の真光寺川に僅かな水が注いでいます。この合流箇所から上流が南東建、下流が川崎治水事務所の管理という標識があり真光寺川の管理境界となっています。そこから開戸親水に向かって小田急線の高架をくぐるとやがて左（柿生方向）に向かって小さな流れがあります。これが開戸親水のできる前の真光寺川の本流でした。住宅地の間を縫うように小さな流れをたどっていきます。こういう機会がないと歩けないような「猫の道」、よそ様のお宅の庭先を抜けていく。道々にもう「ふきのとう」がたくさん自生しています。春の山菜を摘みながら鶴川女子高校のそばを抜けると麻生川です。旧真光寺川はここで麻生川に流れこんでいますが、昔は恩廻公園の先で鶴見川に合流していたということです。流れがそのまま神奈川県との県境になっています。

歩 きだして1時間、恩廻公園調整池で休憩。この公園の地下に直径約15m、600mの貯水管が埋められていて、鶴見川の増水に備えています。のどかな公園を抜けてこれから市ヶ尾にむかうところで、寺家村に寄ってみたいという想定外の声が入って山本さんは急きょ方向転換、寺家ふるさと村にむかいました。寺家村は春の日差しに誘われ里山を散策する人が多い。のんびり歩くうちにやがて昼時になってしまい、市ヶ尾でのランチの予定を変更、山本さんお勧めの茶室風食事処に入りました。早速ビールを飲んで、それぞれ弁当やうどんを頼んで一息入れました。さて、出発となったところで適度なアルコールと満腹感で今日はこれで充分という「半日組」と折角だから市ヶ尾まで頑張るという「完走組」とに分れましたので、そこで一応散会としました。6人の「半日組」ちょうど咲き頃の梅を楽しみながら三輪まで谷戸の春を満喫、妙福寺まえからタイミング良くやってきた鶴川行きのバスに乗って楽しい1万歩の散策を終えました。（笠井 重彦記）



梅の香ただよう地家村青山亭にて昼食

一 方寺家ふるさと村で別れた5人は、午後1時当初予定どおり市ヶ尾に向いました。ふるさと村のカワニナの棲む掘割沿いを歩き、直に鶴見川へ出ます。川沿いの左岸の道は鶴見川サイクリングコースとなっています。青葉台駅につながる常盤橋を過ぎ、ちょっと進むと橋のたもとに近隣の案内図があり、この近くに佐藤春夫の「田園の憂鬱」の碑がありました。左の

丘の上には桐蔭学園の白い建物が見え、隣の丘は稲荷山前古墳があります。所々にマガモ、カルガモが群れていて、この辺りは河口から20km ちょうど鶴見川42km の中間地点です。市ヶ尾高校の近くには黒須田川、大場川が流入しています。青葉総合庁舎の前には「市ヶ尾水辺の広場」があり、ここを過ぎるとすぐに246号線、これ沿いに川と別れ左へ入って市ヶ尾駅2時に着きました。この間1時間の散策となりました。



鶴見川を見ながら一路 市ヶ尾へ

市ヶ尾駅前から柿生駅北口行きのバスに乗り、柿生駅からさらに歩いて帰ることになり、千都の杜から妙行寺の梅を眺め振り出しの下堰親水には3時半過ぎに到着。「歩いた！」と感じた1日でした。(山本隆治記)

源流の埋め立て計画あり！？ 源流で開発会社から説明を受けました

真

光寺川の源流の一つである電源開発変電所下の源流を埋め立て、農園の造成を計画している建設会社があることがわかり、1月25日(月)現地へおもむき、事業を企画している開発会社社長から図面に基づき説明を受けました。当日は2時飯守神社集合、山口会長ほか6名の会員が参加し、計画の内容について質しました。質問1「何故開発するのか」：開発業者は建設残土の廃棄地がほしい、土地の所有者は荒廃地のまま放置するより、農地に造成し活用したいと考えている。質問2「サワガニが生息しているがその環境を維持できるか、残土は環境汚染の懸念はないか」：湧水はパイプを通して流す、出口の下流に生息できるかもしれないが、保証はできない、また残土の環境汚染の懸念は一切ないとのこと。現在行政に申請中の段階であるので、私たちとしてはサワガニが生存できる環境を維持し、源流らしく整備できないか、等々経過を注意深く見守っていきます。



源流で開発会社から説明を聞く

『めだかポスト』

「めだかポスト」への寄付のほか一木会と見つめ会からの寄付を合算して、2月は合計2,573円でした。里親の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

ご厚志を頂くに当って、ご負担をかけない様に「**印字済払込取扱票**」をポスト脇のファイルに入れてあります。「**赤インク印字の払込取扱票**」をご利用頂ければ、**手数料無料**でお振込みが出来ます。また**なるべくATMでの振込み**をご利用ください。どうかよろしくお願いいたします。

郵便振替『00150-4-574114』

加入者名『真光寺川里親の会』

私たちの行動基準

1. 私たちの活動は、地元や地域の人たちに支持されているか。
2. 私たちの活動は、自然に対して謙虚であるか。
3. 私たちの活動は、誰にも解るように説明されているか。

4月の清掃日は11日(第2日曜日)です。一緒に川をきれいにしませんか

川の中や川の周辺のゴミを拾います。一般の方々のご参加、大歓迎です。

☆ スケジュール **9:30 下堰親水場 集合**

09:30 開戸親水場～神明橋間のオペレーション(清掃作業)

11:30 作戦会議(「いちよう会館」) 12:30 解散予定

『<http://www.shinkojigawa.com/>』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp